

平成27年度全国学力・学習状況調査及び佐賀県学習状況調査の 分析結果と今後の取り組みについて

平成27年8月 小城市立桜岡小学校

4月に行われた全国学力・学習状況調査（6年国語・算数・理科）、佐賀県学習状況調査（5年国語・算数）の結果をお知らせします。

- 5年国語・5年算数の全体の正答率は 県平均とほぼ同じです。
- 6年国語・6年算数の全体の正答率は 県平均とほぼ同じです。
- 6年理科の全体の正答率は 県平均をやや上回っています。

正答率を同一学年児童で比較（昨年度の同学年との比較）してみると、5年生・6年生ともに年々よくなっていて、本年度はいずれも県平均を上回りました。また、同一児童での比較（同じ児童の昨年度との比較）においても、国語・算数ともに改善し、県平均を上回りました。

しかし、観点別にみると県平均と同程度であっても「おおむね達成」を下回っている観点（5年国語「読む」、6年国語「話す・聞く」、5年・6年算数「考え方」、6年理科「技能」）もあり、今回の結果を詳細に分析して具体的な手立てや指導方法をさらに工夫し、今後の指導充実を図っていきます。

また、同時に行われた「意識調査」の結果で改善を要する項目において、ご家庭での協力をお願いしなければならない点もありますので、1学期末にお渡しした結果をご家庭でもご覧になり、日々の家庭学習や家庭生活での声かけやアドバイスの一助としていただければと考えています。

◆学力・学習状況調査から

《5年国語》

- 言語事項では、「修飾と被修飾の関係について理解する」と「文脈に即して漢字を正しく書く」が、県平均より大きく上回っている。
- 書くことでは、「相手や目的に応じて、手紙の構成をする」と「目的に応じて、必要な事柄を明確に書いたり、相手に応じて丁寧な表現を用いて書いたりする」が、県平均より大きく上回っている。
- 言語事項では、「慣用句の意味を知る」が、県平均より大きく下回っている。
- 話すこと聞くことでは、「聞いた事柄を基に分からない点や確かめたい点を質問する」が、県平均より大きく下回っている。

	分析結果・課題	改善に向けた取り組み
聞くこと 話すこと	○県平均とほぼ同じ。 ・出されている条件の意図を読み取ることができていないので、求められている条件に完全にあった答えを書けていない。	○桜っ子タイムなどの時間に、条件に合わせて答えを記述する問題に取り組みさせる。
書くこと	○県平均よりやや上回っている。 ・複数ある条件のうち一つだけ条件を満たしていなかったり、条件の意図を読み違えていたりしている。	○条件の多い記述の問題に取り組みさせる。その際、複数ある条件を整理して考える方法を指導する。
読むこと	○県平均とほぼ同じ。 ・明確に「条件」として示された条件の読み取りはできていたが、「条件」としては示されていない問題文の意図まで読み取りができていない。	○条件に合わせて答えを記述する問題に取り組みさせ、問題文が何を答えとして求めているか全体で確認をしながら指導する。
言語事項	○県平均とほぼ同じ。 ・慣用句を覚えていない児童が多い。 ・ローマ字の読み書きが正確にできていない。	○日頃から、慣用句とその意味を結びつきやすいイラスト入りの問題などに取り組みさせる。読書も積極的に取り組みさせる。 ○外国語活動などの時間にローマ字の書き取りの練習をする。

《5年算数》

<p>○正方形の求積がよくできている。 ○正方形の形を作る際の伴って変わる2つの数量の関係を考えることがよくできている。 ○長方形の複合同形の求積がよくできている。 ○計算の順序のきまりを理解し、計算することができている。 ●問題文をよく読んでいない。 ●正しい答えを選んではいるが、根拠となる理由を式や言葉を使って説明することが苦手である。 ●展開図から立体をイメージすることができていない。 ●示された条件に沿って考えることができていない。</p>		
	分析結果・課題	改善に向けた取り組み
考え方	<p>○県平均とほぼ同じ。 ・3観点の中で最も正答率が低い。 ・問題文から必要な情報を適切に取り出すことができていない。 ・自分の考えを示された条件に沿って書くことを苦手としている。</p>	<p>○活用問題に取り組む時間を確保し、問題文の意図を読み取ることや課題について式や言葉で説明する内容を取り入れる。</p>
技能	<p>○県平均をやや上回っている。 ・面積の単位換算が苦手な児童が多い。</p>	<p>○面積や容積の単位換算の復習を行い、定着を図る。</p>
知識理解	<p>○県平均とほぼ同じである。 ・面積や立体について、具体的イメージをもつことができにくく、正答できていないようである。</p>	<p>○具体物をもとに実生活と関連付けた指導、特に量感について重点を置いた指導を行う。また、他教科と関連付けていく。</p>

《6年国語》

<p>○知識理解技能では、「漢字を正しく読み書きする力」はおおむね達成している。 ○知識理解技能では、「文の中の主語・述語の文章構成を理解する」はおおむね達成している。 ○読むことでは、「作品募集の中の案内の中から、必要な情報を読み取ること」はおおむね達成している。 ●知識理解技能では漢字の書きの一部で、点やはらいの細かい間違い（「巢」の字が「単」や「果」になっていた）が多かった。 ●知識理解技能では、文を構成する主語と述語との照応関係（品詞「動詞」「形容詞」「名詞+だ」）を捉えることができていない。 ●読むでは、「文章の中から引用の言葉を選ぶこと」がほとんどできていない。おそらく問題文の中の「根拠付ける」や「引用」の意味を理解できていない。</p>		
	分析結果・課題	改善に向けた取り組み
聞く話の内容	<p>○県平均とほぼ同じである。 ・聞く観点を選ぶことができていない。</p>	<p>○算数科だけでなく、国語の授業でも「二人でタイム」や「みんなでタイム」を取り入れ、発言や発表の場面を多く仕組む。 ○朝の会や帰りの会を利用し、スピーチタイムの中で自分の考えや意見を話させるようにしていく。</p>
書くこと	<p>○県平均よりやや上回っている。 ・条件に合わせて文章を書くことができていない。 ・条件が複数になると文章を書くことができていない。</p>	<p>○「桜っ子タイム」等を利用して、条件をつけた文章を書くスキル問題に取り組ませる。</p>

読(よ)み	○県平均とほぼ同じである。 ・問題の言葉の意味をはき違えたり理解できていなかったりして、正しく答えることができていない。	○図書館の本をたくさん借りて親しませ、読む習慣をつけながら読み取る力を身につけさせる。 ○わからない言葉は国語辞典を使い、意味を理解させる。
国語事項	○県平均とほぼ同じである。 ・漢字の一部の点やはらいのまちがいが多く、正確に覚えていない。 ・文の型や品詞の理解ができていない。	○漢字や言葉の力を定着させるためにスキル学習を繰り返し行う。

《6年算数》

○計算の結果の見積もりや、小数の仕組みと数の相対的な大きさについては理解できている。
○二等辺三角形を円の性質と関連付けてとらえることができる。
○日常生活の中で必要となる条件に合った時刻や時間を求めることができる。
○選択問題については、正答率が高い。
●分度器を使って正しく測定することができず、分度器の目盛りをそのまま読み、補角の大きさを解答した誤答が半数だった。
●見取り図と展開図を関連付けて、立体図形の辺や面の位置関係を理解することができていない。
●グラフの特性に着目して、グラフに表されている事柄を正確に読み取ることができていない。
●考えたことを記述する設問は、5設問中4問が県平均を下回っており、事象が成り立つ根拠や、判断の理由などを記述することに課題が見られる。また、必要な条件に合わせて答えることや自分の考えを筋道立てて説明することができていない。基礎的な知識・技能の確実な定着が必要である。
●単位量あたりの大きさに関する技能、数学的な考え方に課題がみられる。基準量、比較量、割合の関係を捉え、基準量を的確に求めることができていない。

	分析結果・課題	改善に向けた取り組み
考え方	○県平均とほぼ同じである。 ・3観点の中でもっとも正答率が低く、「おおむね達成」を大きく下回っている。 ・学習したことを生活場面に生かして考えることを苦手としている。	○単元の終末に活用力を高める問題に取り組ませる。 ○課題提示の時に、児童にとって身近で解決の必要性を感じる場面を基に問題を設定し、算数のよさを実感させる。
技能	○県平均とほぼ同じである。 ・四則計算はよくできている。 ・分度器の使い方や四捨五入のしかたなどができていない。	○音読計算を続けたり、計算力検定などを実施したりして、基礎的な計算力の向上に取り組む。 ○分度器やコンパス、三角定規などを使った問題に繰り返し取り組みさせる。
知識理解	○県平均とほぼ同じである。 ・図形の性質についての理解が十分ではない。 ・示されている事柄と、グラフとを関連付けることができていない。	○図形の性質に基づいて、図形を構成したり、図形の理解を深めたりすることができるようにする。 ○グラフの特徴を理解し、表やグラフから示されている内容を的確に読み取ることができるようにする。

《6年理科》

○金属の温度による長さの変化を示すグラフから、金属の種類による熱膨張の違いについて考察して分析し、その内容を的確に記述することができている。
○メスシリンダーの名称を理解している児童が多い。
●顕微鏡の名称と操作の仕方を理解している児童が少ない。

- 観察・実験について批判的に見直し、改善を図ることがあまりできていない。具体的には、電磁石の巻数をそろえる時の導線の長さや、電流の強さを同じにする時の乾電池のつなぎ方や向きなどを見直し、必要に応じて改善することがあまりできていない。
- 問題に対する自分の予想について、実験結果から、より妥当な考えに自分の考えを改善することがあまりできていない。

	分析結果・課題	改善に向けた取り組み
思考表現	○県平均よりやや上回っている。「十分達成」のレベルではない。 ・実験結果から、考察し、妥当な結論を導き出すことに、単元によってかなりの差がある。	○「課題→実験観察→結果の考察→結論」の中で、自分の考えを表現させる手立てを積極的に取り入れていく。 ○できるだけ、理科の用語も使わせて慣れさせていく。
技能	○県平均とほぼ同じである。しかしながら「おおむね達成」のレベルまで到達していない。 ・単元により、実験観察の技能に大きな差が見られる。	○対象や目的に応じて実験器具を適切に操作できるようにすることが必要である。 ○すべての児童が安全に留意しながら操作を行い、操作方法を習得できるようにする。
知識理解	○県平均より大きく上回っていて、「十分達成」とほぼ同じである。 ・出題単元のすべての設問で、県平均を上回っている。	○単なる知識の習得にならないようにし、思考表現や技能と結びつけたものにする。

◆生活習慣に関する「質問紙（意識）調査」から

《5年意識調査》

【数値が高かった（よかった）項目】

①	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間テレビやDVDを見たり、聞いたりしますか。	分析と取組 ①④から「生活反省表」を毎日保護者と一緒に確認していることで、よりよい生活リズムが作られてよい結果として表れていると考える。 ②③から、出された課題には素直に取り組んでいることが分かる。苦手な教科に取り組む姿勢は賞賛し、さらに継続できるように今後も指導を続けていきたい。 全体的に家庭での生活や学習に対する意識が高いことや、各学年適切な家庭学習を出していることが考えられる。今後も家庭との連携を図っていきたい。
②	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。	
③	苦手な教科の勉強をしている。	
④	自分で計画を立てて勉強をしている。	

【数値が低かった（悪かった）項目】

①	授業では学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う。	分析と取組 全般的に見て県平均と比べてほぼ同じかややよいが多かった。その中で、①が低いことから算数科では「話し合い活動」に力を入れているが、他教科にも広げていく必要があると考える。 ②③は県平均に比べてやや低いが、8割以上の児童は満足していることが分かる。 ④から休日の課題の質や量について、再考する必要があることが分かる。
②	学校に行くのは楽しいと思う。	
③	友達と会うのは楽しいと思う。	
④	土曜日や日曜日など学校が休みの日に一日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。	

《6年意識調査》

【数値が高かった（よかった）項目】

①	平日、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピューターゲーム・携帯式ゲーム・携帯電話スマートフォン含)をしますか。(全くしない・1時間より少ない)	分析と取組 ①学校のきまりにも「平日ゲームはしない」とあることも関連しているかもしれないが、帰宅後の有効な時間の使い方が、身に付いてきているようだ。②③と併せて考えると、余った時間はゲームではなく読書をして過ごす姿が浮かび上がってくる。ここにはないが、テレビやDVD視聴時間も県の平均より短いという結果が見られた。このことから同様な姿勢が伺える。 ④については、本校が算数科の時間に取り組んでいる学び方が身に付き、自信になっているようだ。難しい問題にもチャレンジしたいという前向きな姿勢をこれからも育てていきたい。
②	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館どこくらい行きますか。	
③	読書は好きだ。	
④	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ。	

【数値が低かった（悪かった）項目】

①	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいきたいと思う。	分析と取組 ①②④自分から課題を見つけたり、習っていない学習を工夫しながら勉強したりするような能動的な学習には、苦手意識を持っている。課題の見つけ方をアドバイスしたり、自主学習のやり方を具体的に提示したりする必要があると考えられる。 ③ただ漠然と学習に取り組むよりも将来の夢や目標を意識しながら学習に取り組むことは、学習効果を高めることにもつながると考えられる。夢や希望、目標を持つことの大切さを、さらに子どもたちに伝えていく必要がある。
②	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。	
③	将来の夢や目標を持っている。	
④	学校の授業の予習をしている。	

～最後に～

本校では、今回の結果を踏まえ、今後の授業や教育活動の改善に生かしていきます。ご家庭でも協力をお願いします。

なお、本調査の結果はあくまでも児童の学力の一部を表したものに過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指していきます。